

## 参加者アンケート集計

本シンポジウムに参加いただいた方々にアンケートの協力をいただきました。

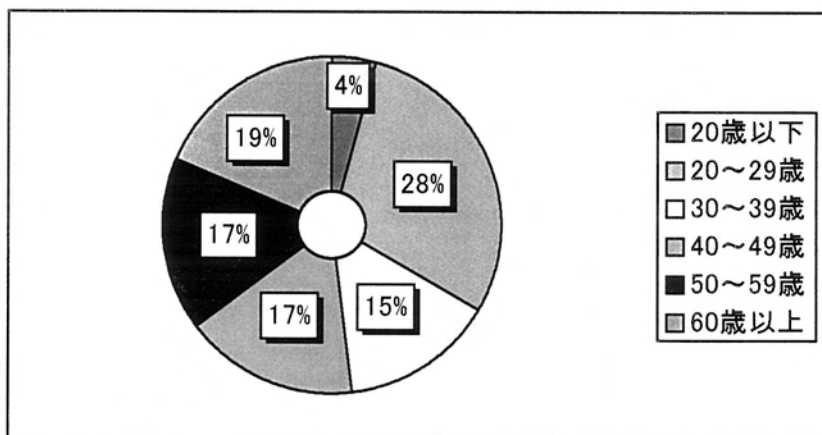
アンケートの内容および結果は以下のとおりです。

I. 参加者数	93名
II. アンケート回答者数	48名
III. 回答率	51.6%

### 1. あなたの属性を教えてください。

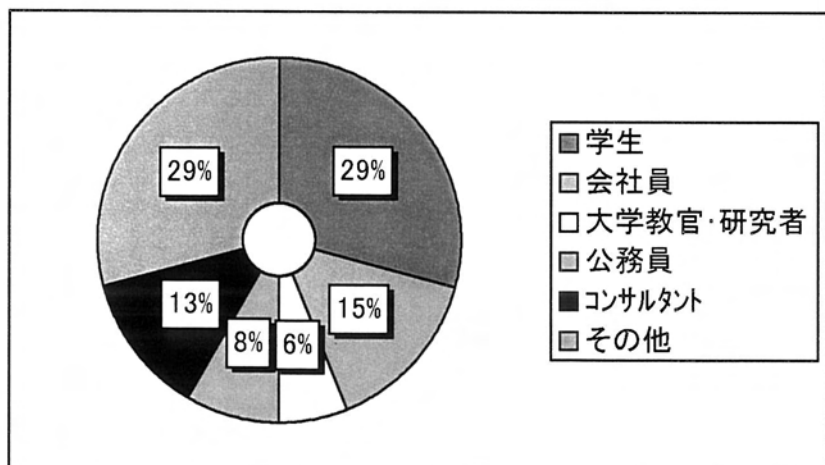
#### 〔年齢〕

20歳以下	21～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
2	14	7	8	8	9	48



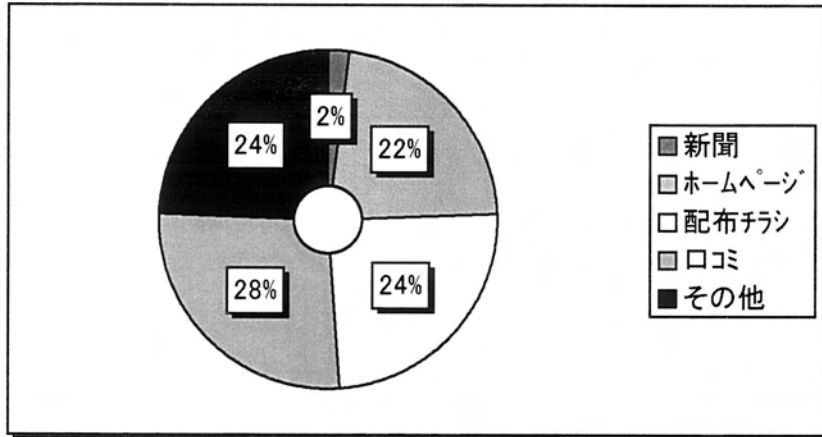
#### 〔職業〕

学生	会社員	大学教官・研究者	公務員	コンサルタント	その他	合計
14	7	3	4	6	14	48



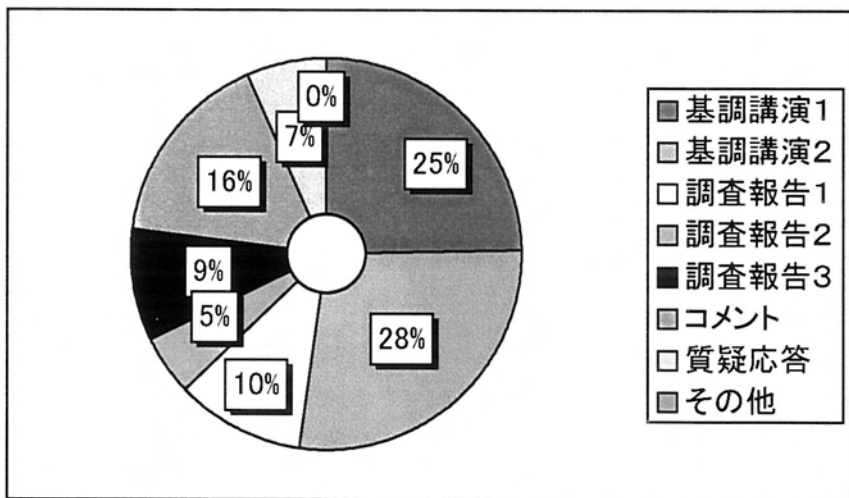
2. 今回の講座を何で知りましたか？（複数回答あり）

新聞	JICA ホームページ	配布チラシ	知人・友人 からの口コミ	その他	合計
1	11	12	13	12	49



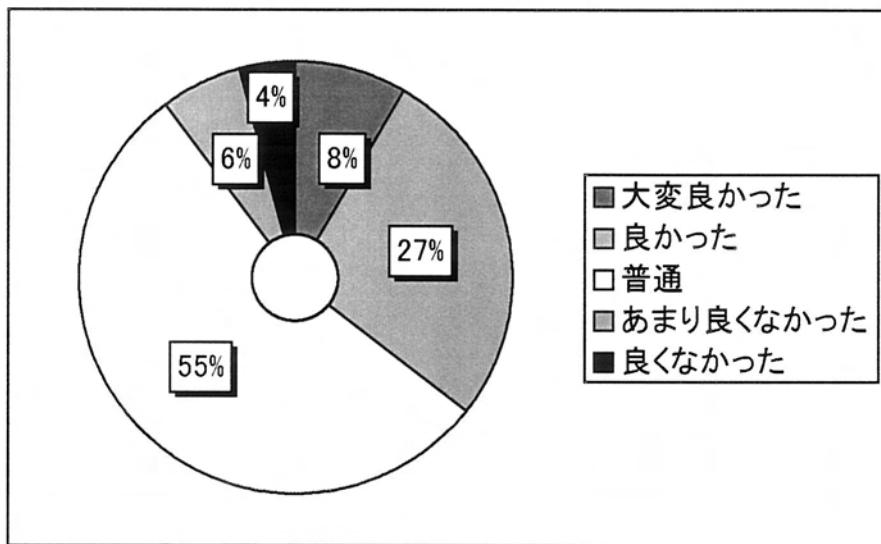
3. 今回のシンポジウムで面白かったのは？（複数回答あり）

33	基調講演1「ガラパゴス諸島ー進化と生態の実験室」(伊藤秀三)
37	基調講演2「ただ今、進化中ーガラパゴスのふしぎな生きものたち」(岩崎弘倫)
14	調査結果報告1「エクアドルとガラパゴスにおける社会・経済の外観と、環境への影響」(坂井茂雄)
7	調査結果報告2「ガラパゴスの環境保全体制」(中沢信之)
12	調査結果報告3「我が国の協力の視点から」(宮川秀樹)
22	コメント (真板昭夫)
9	意見交換・質疑応答
0	その他
134	合計



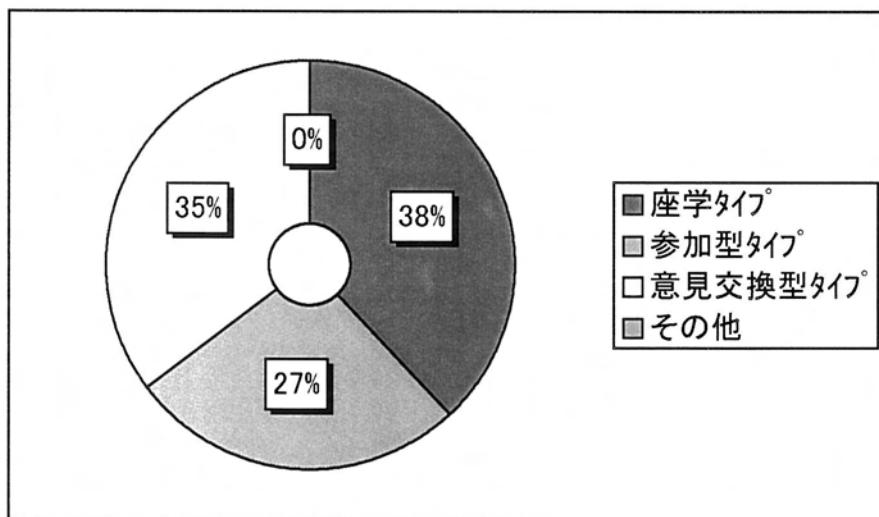
4. シンポジウムの進め方はいかがでしたか？

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
4	13	26	3	2	48



5. 今後どのような催し物、講座に参加してみたいですか？（複数回答あり）

座学タイプ° (講座・講演)	参加型タイプ° (実習・実技研修)	意見交換型タイプ° (ワークショップ°)	その他	合計
27	19	25	0	71



6. あなたがガラパゴス諸島の再生と未来に向けて必要だと思うことや、JICAへの要望・意見など自由にご記入ください。

- Aさん ガラパゴスという場所についていろいろ楽しいことが知れて良かったというのが感想です。 自分の専門分野は植林なのですが、いろいろな面を見ていくのは新しい発見になると思います。
- Bさん 1) JICAの公開シンポジウムも益々洗練され、構成もうまく工夫されてきていると感じます。 2) これはその傾向の一步前進です。 3) 協力の方向はかなり難しいものになるでしょう。水産と他分野の組み合わせ、あるいは他分野の束ねとか。本来は受益者ニーズに応じて(我が国の)国内態勢を作るということでしょうか、ガラパゴスでは分裂している受益者(stake holders)のニーズをコンセンサスにまとめていくのは誰か、それを実行に移していくには何が必要か、の解明とそれぞれの過程が重要ではないでしょうか。小生はもはや「傍観者」であり、その立場からは非常に楽しめ、将来の発展についても興味を持っています。
- Cさん 環境問題の一般論ですが、貧困問題を正面に据える必要があると思います。同一地域で環境保全のプロジェクトと地域住民を対象とした貧困問題を取り扱ったプロジェクトをドナーは持ち込むといいと思います。
- Dさん 良い勉強をさせていただきました。ガラパゴスに関する概論だけの議論ではJICAが囁んでセミナーを開くインパクトが弱いと思います。やはり今後の技術協力についての議論の展開に多くの時間を割くべきではなかったでしょうか。
- Eさん 環境問題は基に人類生存の問題と深く関わっていると言うことを強く実感しました。環境保全関係の仕事に就きたいと思い、今回参加しましたが、さらにその思いが強くなりました。特に基調講演の二つがとても面白かったです。岩崎先生のまだ番組で放映されていないものも見れたことが嬉しかったです。またこのような機会があればぜひ参加したいと思います。
- Fさん 在京「エ」大使講演の通訳はあとで紙にして希望者に配布するなどの方が良い(間延びしてしまった感があったので)。貴重な大自然の遺産を残したいという強いメッセージが伝わってきました(映像の重要さを知りました)。
- Gさん 皆さんの発表がビジュアル的であり、わかりやすく、専門・非専門に係わらず面白く聞くことができました。ガラパゴスのすばらしさとともに、その問題点がよく理解できたと思います。今後もJICAの事業にて、どのような協力が行われていくのか、それがそのようにガラパゴスの自然、住民の方に影響していくのか楽しみに見守っていきたいと思います。
- Hさん 今回はテーマが絞り込まれて面白いシンポジウムでした。ダーウィン研究所やツアーオペレーター、漁協の代表者の生の声が聞きたいと思いました。また、様々なドナーやNGOがすでに活動をはじめている地域で、JICAがどう住みわけて貢献できるのか、ぜひ今後注目したいと思います。個人的には真板理事のお話が興味深くハンドアウトがないのが残念でした。
- Iさん 1) 各発表で若干ポイントが解りづらかったり、内容が重複する場面が多くあったように思える。発表によってはOHP、手元の資料のフォローが難しいものや、内容に新しい点がなかったように思う。2) 現在のガラパゴス諸島の状況や自然生態系保全についての問題提起に比べて、対策や今後の取り組みについての発表が少ないように思った。3) エクアドル政府や現地NGOの生態系保護への取り組みについても発表があればさらに良かったと思う。

- Jさん 1) ガラパゴスにおける取り組みを知ることができ感謝します。 これだけの内容を半日のシンポでは少々無理な感じもしました。 ちょっと集中講義のようでしたね。 しかし、楽しい勉強ができました。 2) JICAの取り組み方をもう少し詳しく知りたかった。
- Kさん ガラパゴスのことは表面的でしか知らず、どんな話しかわからずに来たのですが、今ある問題を解決するのに国際協力として日本が様々なことをしているのをしりました。 環境教育の場としてこのシンポジウムで勉強させていただきました。
- Lさん 1) エクアドル大使の訳をすべて読まなくても良いのでは。 理解できる人もいますので、必要な人には訳したメモを渡すなどで時間の無駄が省けるとおもいます。 2) 調査結果報告は、資料内容と発表時間に無理がある。 省略した分、何が焦点かよくつかめませんでした(お二人とも)。 質疑応答でのコメントの方が大変わかりやすかったです。 3) 空調コントロールなんとかしてください。 大変寒くつらかったです。
- Mさん 地方の方の視点から今後の対策をお話しされていた真板理事のコメントが印象的でした。 これからガラパゴスでどのようなプロジェクトが生まれるのか関心を持ちました。
- Nさん 今回のガラパゴスでの環境問題発生について話し、そして考えるとき、今回の原因となった船舶の視点が不可欠と考えます。 日本の海事科学技術(航行方法、安全航行、管理技術)は世界でもトップクラスであり、これをガラパゴスのような島の環境保全のために使うべきです。
- Oさん 自然保護と人間の生活(人口増加と食料との関係について)、これらをどう調和すべきか、開発途上国で住民の合意があっても生産増大をはからなければ住民に生活向上はあり得ない。
- Pさん ガラパゴスで今後どのように協力していくのか。 特に、どのような将来像に向かって協力していくつもりなのかがよくわからなかった。 協力した結果として、ガラパゴスはどのような姿になるのでしょうか? GDPは低くとも観光で生活できる島にするのか、人口が増えるので新たな産業を育成するのか、どうするのか?
- Qさん 現在、大学の授業で毎週JICAの方に来ていただきとても興味深くお話を伺っています。 今回初めてこのようなシンポジウムに参加させていただきました。 ガラパゴスについてだけでなく、ラテンアメリカ地域の貧困と開発の問題に関心を持っているので、今後も機会があればまた参加したいと思っています。 資料の少ないガラパゴスについて貴重なお話を聞くことができ、とてもうれしく思っています。
- Rさん 問題の核心がなんなのか少し曖昧だったかも知れません。 きれいなこと(きれいごと)だけでは何も守れないのではないのでしょうか。 あいだに人間の生活が挟まっている問題ですので、ドロドロした部分を避けている限り、何の成果も得ることができないのではないのでしょうか。